

報告事項ス

平成26年度伝統芸能功労団体賞について

平成26年度伝統芸能功労団体賞について、別紙のとおり報告します。

平成26年7月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度伝統芸能功労団体賞知事表彰について

平成26年7月15日

文化財課

このたび、平成26年度伝統芸能功労団体賞知事表彰の被表彰団体が決定し、下記のとおり第5回とっとり伝統芸能まつり（鳥取県・鳥取県教育委員会主催）で表彰式が行われました。

記

1 被表彰団体

団体名	所在地	代表者	功績概要
以西おどり保存会	琴浦町	はしだ 橋田 みさお 操	小泉八雲の著作に登場すると言われる八橋郡地方一円に分布する盆踊りで、盆の8月15日を中心に踊られている。 昭和50年代から、以西地区公民館や以西小学校と連携して演技指導を行っており、平成21年10月に鳥取市で開催された「日本のまつり・2009鳥取」に以西小学校全校児童と一緒に出演するなど、保存伝承に尽力している。

2 表彰式

- (1) 期日 平成26年6月15日（日） 午後1時30分から
- (2) 会場 鳥取市民会館大ホール（鳥取市尚徳町）

3 表彰の概要

- (1) 趣旨 県内の伝統的な芸能の保存団体の中で、後世への継承のために特に活発に活動を続けている団体に対し、その功労をたたえて表彰し、もって本県の伝統的な芸能の保存・継承を推進することを目的とする。
- (2) 表彰者 鳥取県知事

伝統芸能の概要



以西踊 (いさいおどり)

仏の供養のために踊られたためか、お盆の8月13日から17日まで各集落の民家の庭先やお寺で踊られていた。

農閑期の若者の交流の手段などという役割もあり、以西地区を発祥とし、旧中山町などへも出かけていった。

小泉八雲が旧中山町で見て感動したという踊りは、以西おどりだったのではないかと、とも言われている。戦後一時期衰退していたが、現在復活し、それまで地区ごとに多少の違いがあったおどりを「以西地区」で統一することにした。

(琴浦町指定無形民俗文化財)

<参考> これまでの被受賞団体

年度	被受賞団体
H16	因幡の傘踊り保存会 (鳥取市：県指定) 円通寺人形芝居保存会 (鳥取市：県指定) 淀江さんこ節保存会 (米子市：市指定) 日南神楽神光社 (日南町：町指定)
H17	江波三番叟保存会 (鳥取市：県指定) 倉吉打吹太鼓振興会 (倉吉市) 米子盆踊保存会 (米子市：県指定)
H18	覚寺麒麟獅子舞保存会 (鳥取市) 覚寺さいとりさし保存会 (鳥取市：市指定) 東郷町浪人踊保存会 (湯梨浜町：県指定) 倭文神社大名行列保存会 (倉吉市)
H19	賀露神社麒麟獅子舞保存会 (鳥取市：県指定) 宇野三ツ星盆踊り保存会 (湯梨浜町：町指定)
H20	三朝町さいとりさし踊り保存会 (三朝町：県指定) 法勝寺歌舞伎保存会 (南部町：町指定)
H21	せきがねさいとりさし保存会 (倉吉市：県指定) 芦津獅子舞保存会 (智頭町：県指定)
H22	日置はねそ音頭保存会 (鳥取市：県指定) 小松谷盆踊保存会 (南部町：県指定)
H23	勝部岩力踊り保存会 (鳥取市：市指定) 泊貝がら節保存会 (湯梨浜町：町指定)
H24	越路雨乞踊り保存会 (鳥取市：県指定)
H25	江尾十七夜保存会 (江府町：県指定)